

課題名	胃癌症例における他施設共同後方視的研究
承認番号	2020-20 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 食道・胃外科 氏名 佐藤 圭
研究期間	(西暦) 2020年7月 ~ (西暦) 2023年3月(最長3年延期)
研究の意義・目的	われわれは胃癌治療ガイドラインを見ることで、さまざまな治療法を知ることができます。しかしながら、ガイドラインに記載の無い病状や病態の症例は、単施設では十分な症例数がないことから正確な統計解析が難しく、科学的根拠が得られません。そこで、多施設での共同研究により、単施設では科学的根拠を構築できない過去の胃癌治療症例データから、後方視的解析を行うことで、より正確な科学的根拠を構築することを目的として本研究を計画しました。 2000年前後には、胃癌治療ガイドラインを遵守した治療方法が普及しており、この研究で得られる成果は、この時期以降の症例を中心とした解析を行うことであり、今後の治療成績向上につながります。
研究の方法 (対象期間含む)	2000年1月~2023年3月に当院を含めた多施設において、胃癌の治療を受けた患者さん(約5000人)を対象とします。当院の患者さんは開院した2005年以降の方が対象となります。 過去の診療録(カルテ)から抽出した手術成績や化学療法の効果や合併症、患者さんの状態や癌の進行度などを解析することにより、手術成績や化学療法に影響を与える因子を調査します。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供される場合はその方法を含む)	対象となる患者さんの診療録から収集したデータは、東邦大学内科学講座消化器内科に収集され、東邦大学大学院医学研究科臨床腫瘍科講座で解析が行われます。 解析項目は多岐にわたり、主に胃癌の合併症、長期生存に関わる予後因子、生存期間などに関して検討が行われます。 当院から患者さんの情報を提供する際には、個人情報を匿名化した登録番号の状態で提供します。個人情報と登録番号の対応表は当院の電子カルテファイルサーバー内に保存され、個人が特定されるような情報が外部に漏れることは一切ありません。
利用又は提供する 試料・情報の項目	過去の診療録から得られる患者さんの背景、病状、治療内容、生存期間などの情報を収集します。
試料・情報を 利用する者の範囲	横浜市立みなと赤十字病院 食道・胃外科 医長 佐藤 圭 東邦大学大学院医学研究科臨床腫瘍学講座 教授 島田英明
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	当院の研究責任者 食道・胃外科 医長 佐藤 圭 提供先の研究責任者 東邦大学 外科学講座/臨床腫瘍学講座 教授 島田英明
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 食道・胃外科 氏名 佐藤 圭 TEL:045-628-6100(代表) 内線 3808(事務局) / FAX:045-628-6101

